

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月10日

事業所名 放課後等デイサービス marcher(マルシュ)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	1		・定期的な配置替えなどでスペースを確保している。	・余暇時間を過ごす児童と学習をする児童は個別に応じたスペースを分けている。
	2 職員の配置数は適切である	2	3		・送迎に関して、たまにギリギリになることがあるが常に工夫をしている。	・利用日や児童によって配置数が心配な時があるが、常に調整し工夫するように心がける。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4		・バリアフリー化は現在必要とされていない。 ・活動に支障はない。	・常に安全安心な環境作りを心がける。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		・集団活動等で主に活用している。 ・PDCAサイクルが目的にならないように注意する。	・日々の目標設定はしっかり行い、同様に振り返りも納得できるまで行い、次につなげるように努める。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			・アンケートだけではなく、利用者の視点を持って支援できるようにする。	・アンケートの実施や保護者からの情報を職員間で共有し、迅速に改善へとつなげていけるように努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・親しみを持てるような会報やホームページを作る。	・会報やホームページを作成し事業所内の見える化に努める。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		1	・外部評価の重要性に対する理解を深めたい。	・外部評価の重要性をより深め、改善につなげていくように努める。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		1	・研修以外でも、日ごろの職員同士のコミュニケーションを大切にする。	・常に職員の質の向上を心がけ、関係機関での研修等に積極的に参加する。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		・アセスメントを基に職員間で共有し作成を行っている。	・アセスメントを基に、子どもと保護者のニーズや課題を分析できるように全職員参加で会議を開催し計画書を作成する。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			・契約時に記入してもらい活用している。	・標準化されたツールを使用し、常に情報は新鮮さを求めていくよう心がける。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・ミーティング等で話し合っている。	・活動の目的を見失わないようにミーティング等で、意見を出し合っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・多様なプログラムはもちろん、同じプログラムであってもやり方を変えていく。	・偏りがないような工夫ができるように常にコミュニケーションを取り合う。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		・休日、長期休暇には日ごろ体験できないことをさせてあげたい。	・休日、長期休暇には日ごろ体験できないことをさせる為に事前の計画はしっかり立て、安全安心を確保しながら実施する。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・活動の目的を見定めバリエーションを増やす。	・職員の多様な視点に基づいて計画を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・会議等で話し合っている。	・役割や支援に偏り等がないよう適切な役割分担を心がける。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・翌日の会議で振り返りを行っている。	・後日には必ず振り返りを実施し、問題等があれば、解決方法を探っていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・利用日は記録を記載している。	・記録は毎日行い、検証や改善につなげ、情報は職員間で共有する。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			・支援中、常に児童の変化に注目して支援計画を改善している。	・日々の記録や職員の情報を基に評価を出し、定期的な見直しを行い、放課後等デイサービス計画の必要性を判断する。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			・パターン化に気を付ける。	・児童の課題にあった支援を心がける。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・有益な情報を提供できるように努めている。	・担当者会議の前に全職員参加の会議を開催し、支援の中から有益な情報を伝えられるように努める。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			・送迎の際の申し送りは適切に行うよう心がけている。	・学校との情報共有、交換、確認事項を徹底し、連携した支援に努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		・会議に出席し連絡体制を整える。	・関係機関との連携した支援を徹底する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		・会議等に参加し、情報を共有している。	・関係機関との連携した支援を徹底する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	2	・会議等に参加し、情報を共有している。	・関係機関への情報提供は協力する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1	・会議等に参加し、情報を共有している。	・積極的に研修等への参加を行い、職員間での共有を徹底する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			2	・コロナ禍で機会が減ってしまった。 ・公園等へ行って他の児童との関わりは少なくはない。	・状況が落ち着いてきたので、様子を見ながら機会を増やしていく予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	2	・機会がなかなかない。	・積極的に参加し、得た情報の共有に努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・会議等で課題について話し合いを行っている。 ・保護者からの情報を職員同士で共有し、支援につなげている。	・より詳細に出来るよう心がける。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		・専門知識を高め、保護者へのサポートをできる限り努めたい。	・ペアレント・トレーニング等の支援が出来る環境作りに努めます。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・契約時に説明を行っている。	・丁寧な説明を心がける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・保護者からの相談があった際は対応を行っている。	・保護者からのご相談には適切に応じられるように、また相談しやすい環境作りにも努める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5	・コロナ禍で開催できていなかったが、今後は機会をつくってきたい。	・開催できるように努める。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・保護者からの相談は迅速に職員間で共有し適切な対応を心がける。 ・子どもの相談、苦情もしっかり対応する。	・子どもや保護者からの相談は迅速に職員間で共有し適切な対応を心がける。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・月一回の会報を発行して配布している。	・定期的な発信を心がける。
	35	個人情報に十分注意している	5			・個人情報に関する資料は慎重に扱っている。	・個人情報に関する資料はより慎重に扱うよう徹底する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・意思を推測し、観察、配慮を怠らない。	・一人ひとりにあった配慮を心がける。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		1	・コロナ禍で開催できていなかったが今後は取り入れていきたい。	・巻き込んでいけるようなイベント等を考え、実行できるように努める。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			・年に数回実施している。	・年間行事として実施すること、保護者への周知徹底。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			・年に数回実施している。	・年間行事として実施すること、保護者への周知徹底。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			・他事業所と連携して研修の情報を共有している。	・研修は年間行事として実施する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			・対応の仕方について会議等で話し合い決定している。	・子どもや保護者に事前に説明し、了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		・情報を共有し、対応している。	・より詳しい対応方法の研修があれば参加できるようにする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			・ヒヤリハット事例集をファイルして共有している。	・ヒヤリハット事例集のファイリングで留まらず、情報共有を行い、常に安全・安心を心がける。